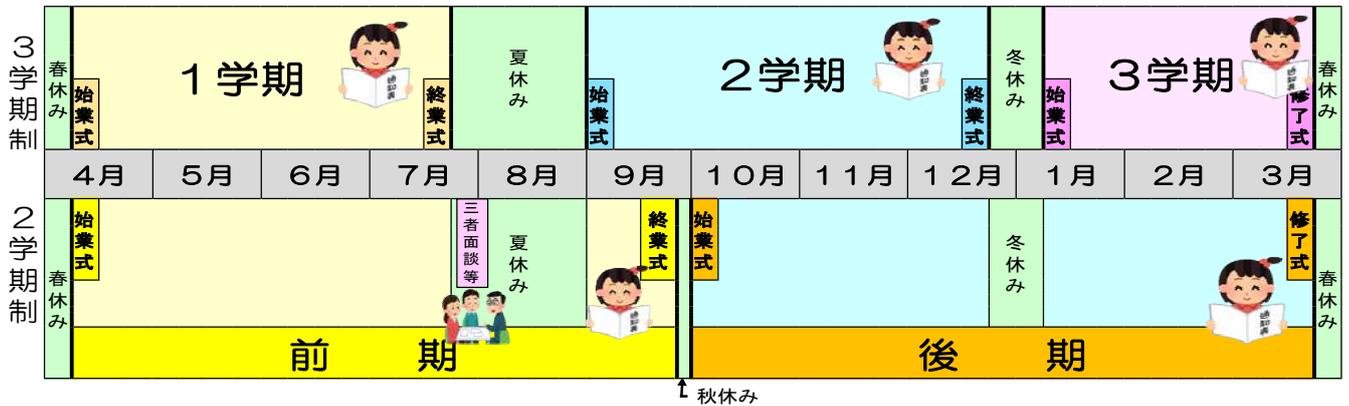


1 学校 2 学期制について

2 学期制は、1 年間を「前期」「後期」の 2 つの学期に分ける制度です。

- 年間の授業日数、長期休業日（夏休み等）の日数・時期は 3 学期制と同程度になります。
- 始業式・終業式がそれぞれ 1 回ずつ減り、通信票を渡す回数が年 2 回になります。



2 2 学期制のメリットについて

- (1) 学期の期間が長くなることで、学校行事等の計画にゆとりが生まれ、特色ある教育活動が展開できます。子どもたちは、学習や学校行事にじっくりと取り組むことができます。
- (2) 長期休業日（夏休み・冬休み）の勉強の頑張りが通信票に反映されるので、子どもの「学欲の継続」につながり、長期休業中を有効に使うことができます。
- (3) 2 学期制では、3 学期制で学期末であった 7 月・12 月も、長期休業日直前までじっくりと授業を行うことができ、学習内容の確実な定着につながります。

3 デメリットについて

- (1) 通信票の回数が減ることで、子どもの成績状況を知る機会が減ります。そのため、夏休み等に三者面談を行う等の工夫が必要になります。
- (2) 3 学期制では、学期の区切りに、長期休業日（夏休み・冬休み）がありましたが、2 学期制では、前期終了後長期休業日がないため、気持ちの切り替えが難しくなります。そのため、秋季休業日を数日とるなどの工夫が必要になります。

保護者 様

笠間市教育委員会 教育長 今泉 寛
 笠間市立〇〇学校 校長 〇〇 〇〇

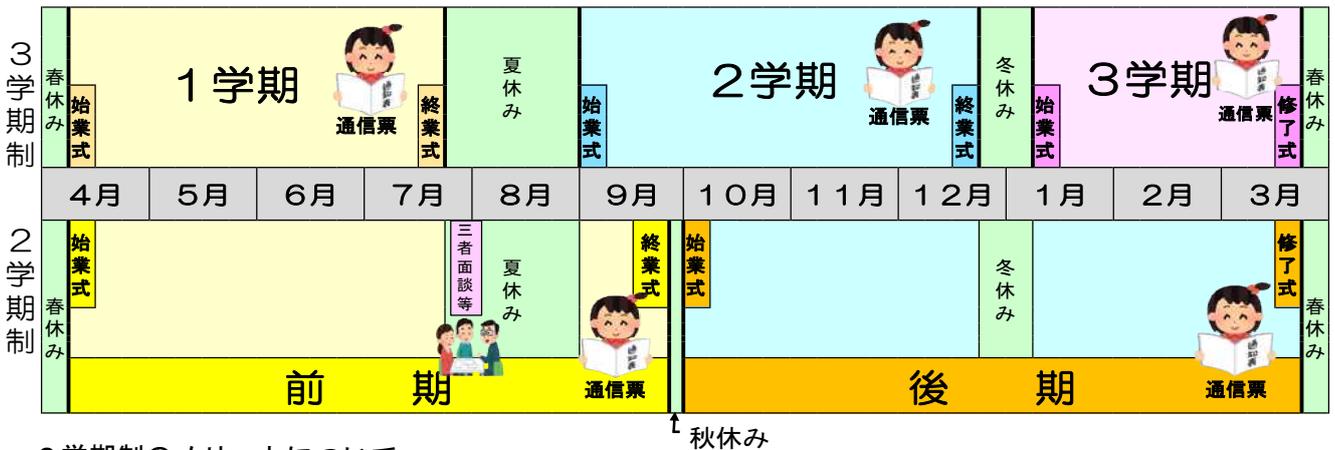
2学期制の導入について

平素より学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心から御礼申し上げます。
 さて、笠間市では、現在の3学期制を見直し、来年度から2学期制の導入を検討しております。
 つきましては、下記をご覧いただき、2学期制について、ご理解をいただきたいと思ひます。もし、ご意見がある場合は、切り取り線以下の枠にご記入していただき、ご提出をお願いいたします。

記

1 2学期制について

- 2学期制は、1年間を「前期」「後期」の2つの学期に分ける制度です。
- 年間の授業日数、長期休業日（夏休み等）の日数・時期は3学期制と同程度になります。
- 始業式・終業式がそれぞれ1回ずつ減り、通信票を渡す回数が年2回になります。



2 2学期制のメリットについて

- 学期の期間が長くなることで、学校行事等の計画にゆとりが生まれ、特色ある教育活動が展開できます。子どもたちは、学習や学校行事にじっくりと取り組むことができます。
- 長期休業日（夏休み・冬休み）の勉強の頑張りが通信票に反映されるので、子どもの「学習意欲の継続」につながり、長期休業中を有効に使うことができます。
- 2学期制では、3学期制で学期末であった7月・12月も、長期休業日直前までじっくりと授業を行うことができ、学習内容の確実な定着につながります。

3 デメリットについて

- 通信票の回数が減ることで、子どもの成績や生活の状況を知る機会が減ります。そのため、夏休み等に三者面談を行う等の工夫が必要になります。
- 3学期制では、学期の区切りに、長期休業日（夏休み・冬休み）がありましたが、2学期制では、前期終了後に長期休業日がないため、気持ちの切り替えが難しくなります。そのため、秋季休業日（秋休み）を数日とるなどの工夫が必要になります。

.....切り取り線.....
 ()年 ()組 児童・生徒名 ()
 保護者名 ()

ご意見